# 討

# 90mへ

工事には2年程度かかるとみている。

ただ、札幌市がまとめた丘珠空港の利活用方針となる将来像案には滑走路を北西に200㍍、南東に100㍍延伸する計画が盛り込まれていて、延伸が実現した場合、今回のRESA拡張計画を見直す必要がある。

## 証明郵送センター新設

### 札幌市 全区へ一括請求可能に

札幌市は10月3日、住民票や戸籍関係証明書などの郵送請求をまとめて処理する札幌市証明郵送センターを新設する。市内全区への一括請求を可能にして利便性を高める。27日投函（とうかん）分からは同センターが郵送請求先となる。

現在、住民票や戸籍謄本などを郵送で請求する際は、現住所や戸籍のある区役所へ個々に請求する必要がある。

取り扱うのは住民票の写しや戸籍謄本、身分証明書など。市税に関する証明書や住居表示の変更証明書などは対象外とする。

同様の取り組みは仙台市や千葉市、横浜市など全国的に増えている。

郵便番号は060－8507で、個別郵便番号のため住所は記載不要。

問い合わせは、電話011（350）5735まで。

## UAV操作方法伝える

### 札樽若力会が建管職員研修に協力

札樽地区測量設計協会の若手経営者らで構成する札樽若力会は26日、札幌建管豊別出張所で開かれた新規採用技術者研修会の講師を務めた。札幌建管と小樽建管の若手職員、テクニカルサポート北海道に登録している本庁職員ら25人に、測量や空撮に使う無人航空機（UAV）の操作方法を伝え、技術力向上に協力した。

若力会から技術者14人が参加。冒頭で石橋慶樹会長は「UAVを実際に操作する機会は貴重。今後の業務に生かしてもらえれば」とあいさつした。

その後、UAV操作に関わる規制、申請方法や必要書類、資格、点検方法など基礎知識を伝えたほか、実技で操作方法と空撮のポイントを説明。入庁2年目となる札幌建管事業課の竹田和志さんは「昨年は屋内、今回は屋外での操作を学んだ。この経験が業務の役に立てば」と述べた。

札幌建管の大畑智嗣地域調整課長は「災害対応は重要業務の一つ。立ち向かうにはチームワークが大切で、研修会を通じて技術の向上と人脈の構築につなげてほしい」と話した。

### 道庁職員の技術力向上を図った

## 日本都市設計の武部社長が講演

## BIMの長所など説明

### 札幌建協と札商がセミナー

札幌建設業協会と札幌商工会議所建設部会・設備工事部会は26日、市内の北海道経済センターで建築設計・建設工事業におけるBIM活用セミナーを開いた。BIMモデルを使って本社ビル新築を進めている日本都市設計の武部幸紀社長が講演。現時点でのBIM導入のメリット、デメリットを整理して受講者に伝えた。

国土交通省が生産性向上に向けてBIMの積極的な活用を促進していることを受けて企画。オンラインでの視聴を含め、建設業者125人が受講した。

武部社長は道営住宅や札幌市内の中学校、同社の新社屋などBIMの導入事例を紹介。導入のメリットに複数同時作業ができ可能で業務を効率化できる点や、クラウドサービスの利用で場所にとらわれずに作業ができ、働き方改革につながる点などを挙げた。

一方、デメリットとして操作環境の構築に多額のコストがかかることや、ソフトの操作と建築知識に精通した人材が不足していることを挙げ、「全国的に同じような悩みを持って進んでいるのが現状」と話した。

最後に設計者、施工者、発注者のそれぞれでメリットがあることを前提に導入を勧めたが、「既存の設計・施工の概念を捨てる覚悟が必要かもしれない」と忠告した。

## 札幌市南区の採石跡で植樹

### 硬石山連絡協

硬石山地区砕石業者連絡協議会は22日、札幌市南区のハラダ産業採石跡地で植樹祭を開き、トドマツの苗木60本を植えた＝写真。

同協議会はハラダ産業が中心となり、2001年から地元町内会と採石跡地の緑化に取り組んでいる。この日は同社社員をはじめ、日本砕石協会北海道地方本部の牧野利信専務理事や石狩森林管理署の荻原裕署長、町内会関係者ら41人が参加した。

一行は場内にある標高200㍍余りの緑化予定地で、用意しておいた穴に肥料や黒土を入れながら苗木を一定間隔で植え込んだ。

荻原署長は「$CO_2$の吸収に関心を持って1本ずつ丁寧に植えてほしい」とあいさつ。ハラダ産業の藤野徹弥社長は「植樹祭は採石跡地の緑化、緑を増やす、SDGsの3テーマを兼ね備えた取り組みなので長く続けたい」と話した。

## 北海学園大生らインターン受入

### 宮坂建設工業札幌

宮坂建設工業札幌支社はこのほど、北海学園大など3大学の3年生5人と札幌工高2年生4人のインターンシップを受け入れた＝写真。

5～16日の日程で、建築は大学生4人と高校生2人、土木は大学生1人と高校生2人が参加。札幌市内の建築3現場、道央圏連絡道路など石狩・空知管内の土木5現場で実習した。

ICT施工を見学した高校生は「進学希望だったが現場を見て就職の道も候補になった」と話し、倉石謙司常務は「建設業に興味を持って就職してほしい」と期待した。

## 共栄小2年生に仕事の魅力紹介

### 四宮造園と道造園コンサル

四宮造園（本社・札幌市厚別区）と北海道造園コンサルタント（同）は22日、札幌市立共栄小2年生の生活科の授業に協力した。両社が入る本社屋に児童82人が訪問。造園の仕事の魅力を伝えた＝写真。

同校近隣の施設や店舗などを訪問し、働いている人たちとの関わりなどを学ぶ授業。2グループに分かれ、はじめに四宮造園の金野光芳営業部長が公園の造成や遊具点検、花壇整備などの仕事内容を説明した。

続いて中庭と玄関前の花壇を案内し、みんなが笑顔になれるような樹木や花などを紹介した。

## JR駅改修は年内完了予定

### 北広島市

北海道ボールパークFビレッジ（BP）建設に伴うJR北広島駅の改修が、年内に終わる見通しだ。26日の北広島市議会ボールパーク調査特別委員会で、柴清文ボールパーク推進課長が駅改修の進捗状況を報告した。10月に着手するバリアフリー化では、車いすが通れる改札機も新設する。

BP開業に伴う利用者増などに備え、2020年9月から工事を進めていて、増設した改札機は運用済み。下りホーム延伸も大半を終え、23年の供用開始を見込む。

新設する改札機はエレベーター近くに4機2通路分設置し、利便性を確保する。

委員会ではこのほか、ファイターズスポーツ&エンターテイメントに加え、BP進出企業と観光や教育、スポーツ、農業などBP開業後のまちづくりについて協議を始めたことを伝えた。

## 建設業許可

石狩振興局

㈲田島電気（札幌市北区屯田6条1丁目5の24、田島直人）電011（773）1863、資本金300万円◇24265号▽一般＝電気

㈲野村共販（千歳市清流8丁目1の2、野村弘）電0123（42）4777、資本金300万円◇24266号▽一般＝土木、とび・土工、舗装

合同会社Salit（札幌市東区伏古10条2丁目18の19、早坂一也）電011（313）0134、資本金100万円◇24267号▽一般＝電気通信

㈲タイホク（札幌市豊平区美園2条6丁目1の15、田沢彰義）電011（813）7988、資本金330万円◇24268号▽一般＝とび・土工

㈱クラウドジャパン（札幌市東区北41条東2丁目1の6、吉野雄一郎）電011（839）0444、資本金500万円◇24269号▽一般＝建築、大工、屋根、タイル・れんが・ブロック、内装仕上げ

## 建築申請

### 札幌市内

（①設計者②施工者）

豊平区

◆ERI確認分

◇個人

（6月20日）

▽福住3条3丁目41の16 1＝2W128住新①三井ホーム北海道②同

◆ピューローベリタスジャパン確認分

◇法人

（6月10日）

▽日本ハウスホールディングス日本ハウス事業部札幌支店（二十四軒3条4丁目1の8）2W98住新、平岸1条15丁目17の4①直営②同

◆道建築指導センター確認分

◇法人

（6月14日）

▽クリーンリバー（西野1条1丁目10の22）2W94住新、月寒東2条9丁目679の60①賣工務②同

◇個人

（4月15日）

▽月寒東3条16丁目255の51＝2W104住新①一条工務店②同

◆J建築検査センター確認分

◇法人

（4月12日）

▽積水化学工業住宅カンパニーまちづくり事業推進部（東京都港区虎ノ門2丁目10の4）10RC8519共住新（97戸）、平岸1条11丁目5の5①浅沼組②同

西区

◆東日本確認分

◇法人

（6月21日）

▽ジョイフルホーム（旭川市永山14条3丁目4の13）2W98住新、西野10条7丁目887の77①直営②同

◇個人

（6月21日）

▽平和3条7丁目188の11＝2W169住新①建築計画工房②タクミハウジング

◆サッコウケン確認分

◇法人

（5月31日）

▽ジョンソンホームズ（八軒4条東5丁目1の1）2W106住新、西野7条10丁目685の14①直営②同

建設新聞見たで シングル No.600

舗装の配合設計と品質管理に「ロードピア